

2020年8月25日

各位

ENEOSホールディングスは 「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX銘柄）2020」に選定されました



当社（社長：大田 勝幸）は、本日、経済産業省と東京証券取引所が共同で取り組む「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX銘柄）2020」に選定されましたので、お知らせいたします。

「デジタルトランスフォーメーション銘柄」とは、東京証券取引所の国内上場会社の中から、データとデジタル技術を活用し、顧客や社会に価値を提供するためのビジネスモデル構築や、組織、業務、企業文化・風土等の抜本的な変革に取り組む企業を各業種から選定するものです。DXに取り組む企業を株式市場で評価する環境を構築し、本格的なデジタル時代の到来を控え、日本企業のDXを加速させていくことを目指しています。昨年度まで実施されていた「攻めのIT経営銘柄」から改められたもので、当社は、「攻めのIT経営銘柄2019」に続き、2年連続の選定となります。

今回は、主に以下の4つのDX推進の取り組みが評価されました。

1. DX推進体制の整備

当社のデジタル推進責任者・CDOを議長とするDX推進委員会を設置し、トップダウンでDXを推進する体制を整備しました。また、CDOオフィスを新設し、DX人材育成をはじめ、各組織のDXの取り組みに対する支援や情報発信を通じて全社のDX機運醸成に取り組んでおります。

2. デジタルプラットフォームの構築

データ分析プラットフォームを中心としたデジタルプラットフォームの構築を進めています。社内外のデータを融合し、需要予測や異常検知といった基盤事業の効率化だけでなく、顧客分析に基づく新たなビジネス展開の取り組みを加速します。このデジタルプラットフォームと、当社の強みであるリアルプラットフォームを組み合わせ、お客様のライフステージに合わせ、必要とされるサービスをトータルで提供できるプラットフォームへの転換を目指します。

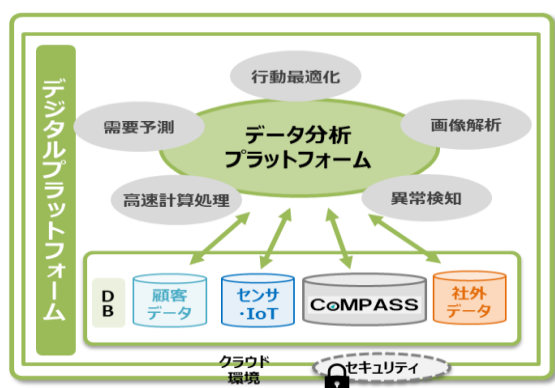
3. DX人材育成

デジタルプラットフォームを活用しDXを推進する人材を「ABCD*人材」と定義し、全社員のデジタルリテラシーの底上げ、専門性の高いデジタル人材の育成に取り組みます。

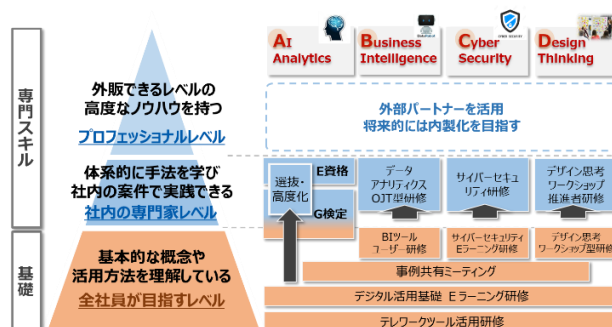
*A: AI・Analytics B: Business Intelligence C: Cyber Security D: Design Thinking

4. デジタル化トライアル

2018年度より、デジタル化トライアル予算を設け、先進的な取り組みやコンセプト検証に取り組んでいます。今までに部門横断的に40件を超える案件を実施しています。



デジタルプラットフォームの概念図



ABCD人材と研修プログラムの概念図

当社は、2040グループ長期ビジョンの実現に向けて、デジタルを活用した基盤事業の効率化と画期的な新製品・新サービスを創出することを目指すデジタル戦略を策定し、全社的なDX推進に取り組んでまいります。

以上

<ご参考> デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄) について

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/keiei_meigara/keiei_meigara.html